

百万石文化が花開いた
加賀藩城下町へ

かなざわ
金沢

古九谷廃窯から約100年後の文化年間（1804～）、加賀藩は卯辰山に春日山窯を開き九谷焼を再興。歴代藩主は、その豊かな財力を惜しみなく工芸の振興に費やした。金沢市内には九谷焼をはじめ石川の伝統工芸品が鑑賞できる美術館や工芸館が点在している。



春日山窯跡

文化4年（1807）、加賀藩が卯辰山山麓に春日山窯を開いて九谷焼を再興。現在、窯跡には石碑が建てられている。TEL076-220-2194（金沢市観光交流課）



金沢城公園

石川門や復元された菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓がある。TEL076-234-3800（石川県金沢城・兼六園管理事務所）



金沢卯辰山工芸工房

加賀藩が創設した「御細工所」の伝統、技術、精神を生かして設立。研修者の創作活動が見学可能。TEL076-251-7286



石川県立伝統産業工芸館

県の伝統工芸品を一室に展示。現代作家が手がけた工芸作品も鑑賞できる。TEL076-262-2020



石川県立美術館

九谷焼を中心に、古美術から近現代の美術工芸品まで県ゆかりの作品を収蔵。平成20年9月まで改装のため閉館予定。TEL076-231-7580

兼六園

日本三名園のひとつで、微軫灯籠や雁行橋など見どころはつきない。TEL076-234-3800（石川県金沢城・兼六園管理事務所）